令和７年度　市政懇談会について（匹見地区）

開催日（曜日）	会　　場	時　　間	出席人数		
			男	女	計
令和７年５月19日（月）	匹見タウンホール	14:00～15:00	12	6	18

１．出席者状況

〇市側出席者
　市長、副市長、教育長、政策企画局長、総務部長、産業経済部長、教育部長、
　都市整備課長、秘書広報課長、匹見上公民館長、匹見下公民館長

２．会の概要

〇開会（秘書広報課長）
　・出席者紹介
　・会の趣旨説明

〇あいさつと施政方針の概要説明（山本市長）
　市長と語り合う会・地区別懇談会の状況を踏まえ、日中に５地区で市政懇談会を実施することとした。ただし、前回の美都地区での市政懇談会のときに、お仕事をされている方は平日の日中では参加しづらいというお声をいただいた。来年度以降の開催については、再度検討したい。
　本日は皆さんと活発に意見交換する場としたい。

　人口減少や少子高齢化に伴う担い手不足が顕在化している。特に中山間地域においては、この傾向はさらに先行して表れているものと認識される。また、自然災害の頻発・激甚化、地球温暖化による夏の猛暑など、地方行政を取り巻く環境は深刻化してきている。
　その一方で益田市では明るい兆しも見えている。例えば、高津川が４年ぶりに清流日本一に返り咲き、全国山城サミットでは予想を上回る多くの方々の参加があるなど、市民の皆様や地域外の方々に益田市の歴史の魅力や価値に充分触れていただくことができた。萩・石見

空港東京線は令和 11 年 3 月まで運航が決定、大阪線は 8/8 から 8/14 までの 7 日間に運航期間が伸びた。また、益田アムスメロンが夕張メロンに続く 2 例目の GI 登録を受け、国のお墨付きをいただいた。

観光の分野においても、12 月に中国・寧波市を訪問し相互に交流を深めることを確認した。また益田市観光協会が川崎市観光協会・石垣市観光交流協会と連携協定を締結するなど、新たな交流の可能性、観光客誘客の可能性も生まれてきている。

地域 DMO として「一般社団法人ますだプライドクリエーション」が設立され、今後、観光庁の支援を受けながら、観光の戦略づくり、実施部隊となっていく予定。更には吉田地区の区画整理事業（南部地区事業）を実施するほか、三隅・益田道路が令和 8 年 3 月末までに開通予定、吉田地区と高津地区を結ぶ県道元町人麿線高津工区も着手される。

このように、益田市の発展の潜在要素がさらに引き出される可能性が出てきたことから、今年度の施政方針はキーワードを「地域の潜在力を活かした持続可能な発展」とし、以下の 4 つの重点方針を掲げた。

①中山間地域振興と交通確保

中山間地域の生活の維持に向け、自助・共助・公助の最適バランスを追求し、官民連携や近隣自治体との連携によって、飛行機やバス路線などの地域公共交通の維持確保を図っていく。先日匹見地区よりご要望をいただいた、3 月 16 日運航開始となった定期路線バスに代わる代替バスについても、様々な不便さや便の少なさ等をご指摘をいただいた。要望の趣旨を踏まえ、改善案を検討していきたい。

②観光と交流の更なる推進

日本全体では海外からの観光客が大幅に増加しており、特に今年は大阪・関西万博が開催されることにより、更なる増加が見込まれている。こうしたチャンスをとらえ、観光交流の機運の高まりを積極的に活用していきたい。

③地球温暖化への対応

益田市では、照明をＬＥＤに替えたり、施設の屋根に太陽光発電装置を設置して、なるべく再生可能エネルギーを活用するようにしており、現在では市役所の庁内で使用する電力は全て再生可能エネルギーで賄っている。さらに、今後、電気自動車の活用、或いは主に夏場・冬場、熱中症予防の観点を踏まえて、服装のウォームビズ・クールビズを通年化し、冷暖房の使用も適切にしていこうと考えている。

④益田市型中高一貫教育の推進

益田市内の高校等と連携した取組や、島根大学や松江高専と連携して小・中学生の学力育成に取組んでいる。今後も学力を育成とともに高校卒業後の選択肢を広げるように、より魅

力的な教育環境を目指していきたいと考えている。

　匹見地区の皆さまには、生活のこと、特に交通の不便さ等があると思う。市民の皆さまのお声を伺い、寄り添った行政運営に努めたいと考えている。

〇各部局からの報告

＜産業経済部＞

（1）農林水産業振興

・益田アムスメロンの GI 登録。

・5 月末には初出荷を迎える予定。GI マークのついたメロンの販売を楽しみにしてほしい。

（2）産業振興

・デジタル産業振興事業に取組む。

・益田西道路の整備により、災害時･緊急時の輸送の迅速化、地域産業の活性化、さらなる企業誘致活発化が図られる。早期完成を要望している。

（3）観光振興

・益田版 DMO「ますだプライドクリエーション」と益田市観光協会と連携して誘客をすすめ、地域の活性化につなげる。

・石見の夜神楽益田公演を毎週土曜日に開催。全 32 公演を 4～8 月、1～3 月に予定。

・7/30、31 大阪関西万博、8/1 高槻城公園芸術文化劇場において石見神楽上演予定。

・6/16 までグラントワ開館 20 周年記念企画展を開催中。

・6/7 匹見峡レストパークでのイベント、8 月の匹見こいこい夏祭り等が匹見地区で開催される。友愛の創出に対しても協力していきたい。

＜建設部＞

（1）山陰道

・三隅･益田道路（15.2 ㎞）は今年度中の開通に向けて進めている。

・市内を横断する山陰道の全ての区間が事業化され、益田道路、益田西道路、益田･田万川道路について、今年度引き続き測量設計・用地買収が行われる予定。

（2）国道 9 号

・栄町の交通安全対策工事を実地中。

・木部の自転車歩行者道整備は引き続き工事を行う。地元の皆様の協力をお願いしたい。

（3）国道 191 号

・匹見町道川から美都町笹倉間において災害防除事業を実施する予定。

（4）国道 488 号

・広瀬工区、澄川工区改良工事を予定。

（5）都市計画道路　元町人麿線

・高津工区は令和７年度に開通予定。

・令和 7 年 1 月に吉田工区が事業認可されたことを受け、今後の測量設計が予定されている。

（6）市道・農道・林道

・4 月機構改革に伴い、農林水産課が担当していた農道・林道を土木課で一元管理している。美都地区は、今年度より本庁で直接管理を行う。匹見地区はこれまで通り分庁舎に配置されている 2 名の職員が管理等を行う。

・維持・修繕の要望は 900 件弱/年におよぶ。緊急性の高いものから優先的に対応するため、ご理解をお願いしたい。

・道路の除草事業については、昨年度より高齢化や人手不足で、自治会や団体の活動が難しくなっている中で皆様にご協力をいただいている。引き続きのご協力をお願いしたい。

（7）各種補助事業について

▶老朽危険空家等除却支援事業（建築課）

・老朽化により危険な状態のある空家の除去に対する補助。

・採択基準等もあるため、事前に建築課にご相談いただきたい。

▶危険ブロック等除去費

・採択基準等もあるため、事前に建築課にご相談いただきたい。

▶私たちの道事業

・生活道路や排水路を地域で機能回復・改善する場合に、かかった経費を助成するもの。

＜教育委員会＞

・匹見小・中学校における「ふるさと・ひとつなぎコーディネーター（旧社会教育コーディネーター）1 名が配置できておらず申し訳ない。引き続き、配置に向けて尽力したい。

・匹見小中学校の図書館は、地域まるごと図書館として広葉樹をふんだんに使用した屋外入口や本棚が整備されている。匹見小中学校学校運営協議会と連携して、活用推進に取組みたい。

（1）施設整備等について

・益田中学校の渡り廊下の工事が夏頃完了。

→市内の学校施設の耐震化がほぼ完了見込み。

・令和７年度　高津中学校、東洋中学校のトイレ改修の予定。

→改修率：小学校 60.5％、中学校 47.5％(令和 6 年度末現在)

→匹見小・中学校の 14/15 中は洋便器化が完了

・雪舟の郷記念館改修中。令和 8 年 4 月にリニューアルオープンを予定。

(2)学校給食について

・物価高騰等による給食費改定のため、増額分の 2/3 を市が負担することで、学校給食費の保護者負担軽減。

(3)益田市型中高一貫教育の取組について

・算数数学パワーアップ教室において、島根大学、松江高専、島根県立大学の学生が講師として小中学生に学びに向かう意識を育む。

→令和 6 年度は延べ人数 822 名が参加。

→参加した中学生アンケートでは全員が「参加してよかった」と回答。

・高校魅力化発信事業では、益田東高等学校で小中学生への学びの場を提供。令和 7 年度の募集は、募集開始から 30 分程度で定員に達した。保護者から要望の高かった英語教室を夏休みに実施。小学生は英会話を中心としたものを、中学生はリスニング・座学を予定している。

(4)文化振興関連のイベント紹介

・グラントワ開館 20 周年「石見の祈りと美～未来へつなぐ中世の宝」(4/26-6/16)

〇意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり

〇匹見小学校の健康診断について

〇匹見小中学校の教職員の配置について

〇マイクロバスの貸出しについて

〇小中学生の図書館利用について

〇携帯電話のサービスエリアについて

〇石谷地区の道路改良について

〇閉会（秘書広報課長）

15 時終了

意見交換

質　問　事　項　等	回　答
①小学校の健康診断について 　今年度匹見小学校の児童は、医師の派遣が困難という理由で、健康診断を受けるために西益田小学校へバスで行くと聞いた。匹見の子どもたちだけが地域で健康診断を受けられないのはおかしいのではないか。 　小・中学校は義務教育であることから、地域に住んでいる子どもたちが地域で安心して教育を受けられることが大前提であり、健康診断も同様である。また、バスでの移動に時間を要することは、児童・生徒にとっても教員にとっても負担がかかる。	①どのような経緯や原因があって、そのような対応になったのか把握できていないため、早急に確認する。今後は同様のことが起こらないよう、再発防止に努めたい。
②匹見小中学校の教職員の配置について 　匹見小中学校の教職員の配置について、人数は足りているということだが、非常勤講師が多いという部分に疑問に思う。	②教員不足の状況が続いており、教師の確保が困難となっている。これにより、本市への講師配置も難しい状況となっている。特に、市内中心部の中学校においても、現在 4 名欠員の体制で対応している学校があるなど、非常に厳しい状況にあるとの報告を受けている。教育委員会としても、早速県へ配置の要望をしたい。
③マイクロバスの貸出しについて 　マイクロバスの貸出について、令和 6 年度で廃止となる予定が、なんとか 1 年延長していただいた。 　公民館単位等、一同を会して行う事業では非常に大切な交通手段。1 年のみならず、引き続き利用できるようにしてほしい。	③これまで匹見地区においては、旧匹見町のときから続いていた、住民の方にご利用いただくマイクロバスが配置されていた。合併して 20 年が経ち、旧益田市地区、旧美都町地区には、そのようなバスは無く、地域間の不均衡な状態となっていた。 　従来の経緯からこれまでは維持してきたが、旧益田市地区・旧美都町地区の住民の方からすると理解に苦しむところで、市としても説明に苦慮してきた。

	これまでのマイクロバスの無償貸出については今年度いっぱいとさせていただくことにご理解いただきたい。
④小中学生の図書館利用について 以前は図書館司書が、専従ではないものの、おすすめの本を推薦するなど、様々な仕事をしてくれていた。今、孫たちを見ていると、小学校の入学当初より図書館の利用が減ったのではないかと感じる。 図書館ボランティア等もいらっしゃるが、専従の司書が働きかけをしてほしい。	④入学当初より図書館の利用が減っているというご心配やご意見を踏まえ、そのような形が一番望ましいのか検討したい。また県にも実態を紹介させていただくなどの工夫をしながら、なんとか市として図書館利用の充実を考えたい。
⑤携帯電話のサービスエリアについて 昨年、大塚から石谷までの間で事故があった際に携帯電話がつながらず、連絡方法がなかった。大きい事故をされた方も、たまたま人が通ったため助かったということもあった。 石谷線全体で、携帯電話がつながるようにならないだろうか。	⑤携帯電話の利用については、携帯電話会社のサービスによって提供されている。人口が多いところは採算が見込めるため鉄塔の整備が進んでいるが、人口が少ないところは整備が進んでいない現状がある。 新しい鉄塔を整備する際には、国県市に対して補助を求められる場合があるため、そういう申し出があれば市としても公費を投じて鉄塔を建てていただくことで、携帯電話が繋がる地域が広がるように支援する。
⑥石谷地区の道路改良について 石谷の道路整備が残り 50ｍで完成というところまで来ていると思う。早く完成させて、地域に光を注いでほしい。 地区自体の人数が減り、自治体運営もなんとか維持している状況。道路が完成したら、また地域のみんなで頑張るという方向になればよいと思う。	⑥石谷地区の改良事業については、何十年も事業を続けており、何とか早く完成させたいという思いを持っている。一方で、市内の様々な場所でご要望をいただいており、完成が追い付いておらず申し訳ない。今日の要望も踏まえて、早期完成に向けて努力したい。